

2024年度（令和6年度）事業報告書

2024年（令和6年）4月1日～2025年（令和7年）3月31日

1. 概況

埼玉県知的障害児者生活サポート協会がスタートして19年目の2024年度は、新型コロナウイルスの流行もようやく収まり、ほぼ以前の日常を取り戻した状況の中での事業推進となりました。

こうした中において、会員拡大を目指して、株式会社ジェイアイシーと連携し、特別支援学校での説明会、さらに未加入の施設へDM配布を実施し、会員増を図りました。

特に、2025年度から生活サポート総合補償制度の一部が改定されることから、2024年度後半においては、会員の方々に制度改定の背景や趣旨・目的及び今後の保険料等について、できる限り、事前に丁寧に説明し、理解を得られるよう、同社とも連携を密にして、オンライン説明会の開催をホームページ上でお知らせするとともに、埼サポだより16号において、制度改定についての詳細な説明や表を掲載するなどの工夫を図りました。

また、障害がある方の自立を支援する団体「クッキープロジェクト」に広告協賛団体として、前年度に引き続き、応援参加しました。さらに、「埼玉県障害者スポーツ協会」の賛助会員も継続し、「埼玉県知的障害児者生活サポート協会」の認知度を高める努力を続けました。2024年度会員数は9,329名となり、当該年度の目標であった9,400名におよそ近い会員数となりました。

また、助成金交付事業においては、2023年度の10件900,339円に対して、2024年度は、10件799,300円の助成金交付を支部へ行いました。

2. 事業

（1）会員拡大に向けた活動

2024年度新規加入者 419名、2024年度末会員数 9,329名

2024年度 プラン別会員数 ①5,003名 ②3,168名 ③1,158名

（2）支部長会・研修会

日時：2024年12月13日（金）13:00～16:15

場所：さいたま共済会館6階 602会議室 参加者約50名

支部長会：会員状況・助成金交付制度・会員範囲拡大について周知・報告

研修会：「生活サポート総合補償制度」についての解説

解説：株式会社ジェイアイシー 本店第二営業部 部長 山口 英倫 氏

（3）広報に関する活動

会報誌「埼サポ16号」を2024年12月に10,000部発行した。

会員の方々にとって読みやすく親しみやすい内容となるよう、昨年度に引き続き、オールカラーで印刷、配布した。

2025年度からの生活サポート総合補償制度一部改定に伴い、会員の方々からの理解を得るため、ページ数を8ページから11ページに増やし、制度改定の背景や補償内容の変更、保険料等についての説明や表を掲載した。

また、会員の方から2024度に寄せられたアールブリュット展「作品」97点全てを紹介。助

成事業報告として、支部が行った「研修会」の記事を掲載。ホームページの活用という点では、同補償制度の制度改定に関わる株式会社ジェイアイシー主催によるオンライン説明会や助成金交付申請等の告知を実施した。

(4) 助成事業

2024年度助成事業は、実施10支部(799,300円)、クッキープロジェクト広告協賛費(50,000円)の合計849,300円となった。助成金交付事業制度の実施に当たっては、地域との交流を行うなどオープンな形で事業実施が求められることから、助成金事業規程の一部を改正し、2025年度からは新たな助成金事業規程に基づき、応募を行うこととなった。

	申請団体	実施日	助成金額
①	社会福祉法人本庄ひまわり福祉会	4/19、6/21、 8/23、10/18、 12/20、2/28	79,073
②	社会福祉法人日和田会 かわせみ	6/20	100,000
③	社会福祉法人清心会 さやか	6/22	100,000
④	NPO法人チャレンジ	6/6、10/26	99,459
⑤	八潮市手をつなぐ親の会	8/1	82,482
⑥	秩父手をつなぐ育成会	8/31、2/28	86,950
⑦	川越手をつなぐ育成会	12/1	52,000
⑧	社会福祉法人啓和会	1/17、1/18	53,036
⑨	久喜市栗橋手をつなぐ育成会	1/11	99,920
⑩	白岡市手をつなぐ親の会	3/19	46,380
⑪	クッキープロジェクト	3/15・3/16	50,000

① 支部：社会福祉法人本庄ひまわり福祉会

事業名：「強度行動障害支援者養成研修受講後の継続研修」

目的：当該支部が実施している「強度行動障害支援者養成研修（基礎・実践）」を受講し、実際に職場で受講内容を実施し、支援困難事例等を検討することで事業所、研修受講者の支援の質を高めることを目的とする。

成果：支援困難な事例を検討し、埼玉県北部の事業所職員でアイディアを出し合いより良い支援方法を見出し、実際の支援現場で活用した。また、医療ケア児の在宅生活についての講義を受講することにより、医療ケア児についての知見を深めることができた。

② 支部：社会福祉法人日和田会 かわせみ

事業名：「社会福祉法人日和田会主催 福祉を考える市民講座」

目的：障害者を取り巻く現状について、市民の方に広く知ってもらうための場となるよう、障害者問題について、障害当事者や家族の思いを聞くことで、一緒に考えることができるような場とする。

成 果：行政関係、相談員、民生委員、市議会議員、ボランティア部の高校生など幅広く160名以上が参加。ケアラーの実態を改めて知るとともに、施設の取組や障害のある人達のことを地域の多くの人に知ってもらう機会となった。

③ 支部：社会福祉法人清心会 さやか

事業名：「さやか未来フォーラム」

目 的：一人ひとりの存在とその価値～共生を考える～

成 果：講師に植草学園副学長の野澤和弘氏を招き、講師自身の家族の話、福祉施設における虐待の話、津久井やまゆり園の話などを通して、これからの共生社会の在り方を学ぶとともに、一人ひとりの存在とその価値について考える機会となった。

④ 支部：NPO法人チャレンジ

事業名：「行動障害児・者とその家族へのPSP支援」保護者相談会・アフターケア編

目 的：英国の先駆的臨床事例を通して、保護者・職業者の方に行動障害を理解してもらい、正しい対応をより深く学んでもらう。さらに、日々の実践・悩みの相談に乗り、保護者や支援者のメンタルケアや障害者本人の特性に合わせた適切な支援方法を考える機会とする。

成 果：NPO法人日本行動障害支援協会代表理事・知的発達障害心理士で、英国行動障害支援協会研究員でもあるゲラ弘美氏を講師として、ZOOM併用方式による英国の事例を学ぶとともに、相談会を実施することにより、より適切な支援方法についての助言を行うことができた。また、その後も、保護者のグループLINEメンバーの追加やグループホームの見学、講師への無料メール相談等、事業所諸君同士の情報交換等、支援に関する活発な交流が行われるようになった。

⑤ 支部：八潮市手をつなぐ親の会

事業名：「子供の特性を理解することから始まる行動障害支援」

目 的：行動障害について振り返り、日々の対応を見直すきっかけとする。夏休みに入り、生活環境も変わるため、障害者本人にとって適切な支援方法を考える機会とするとともに、一般の方々の理解増進を図る。

成 果：独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園参事の志賀利一氏を講師に招いて実施し、家族・障害サービス福祉事業所のみならず、様々な立場の方々が参加し、それぞれの立場から行動障害について考えてもらうよい機会となった。

⑥ 支部：秩父手をつなぐ育成会

事業名：「映画館へ行こう！」

目 的：障害児者の趣味の拡大を図るとともに、一般の施設（映画館）での過ごし方、利用の仕方などを体験し、慣れることを目的とする。

成 果：一般の施設である映画館において、暗さや音の大きさが苦手、障害特性による動きや声を発するなどなどのことにより、映画鑑賞は難しいと保護者が考える中で、「自分も映画館に行って観ていいんだ。次は〇〇が観たい。」といった言葉も聞かれるなど、今後の一般の施設のさらなる利用につながっていくような成果があった。

⑦ 支部：川越手をつなぐ育成会

事業名：「笑顔でふれあいフェスティバル カーレット体験会」

目的：川越市内在住の全障害者を対象に地域住民との交流と余暇活動の充実を図ることを目的とする。

成果：川越市では初めての企画であったが、カーレットゲームは誰でも楽しく対応でき、障害児者同士の交流につながるとともに、地域の人達との交流にもつながった。

⑧ 支部：社会福祉法人啓和会

事業名：「けいわのさくひんてん」

目的：施設利用者の作品を発表する機会を作り、出展者の意欲と楽しみを高めるとともに、地元地域の方々に見てもらい、施設利用者との交流を深めることを目的とする。

成果：チラシやポスターを配布し、地元の広報誌や新聞に記事を掲載し、開催を宣伝したところ、開催当日は久喜市長、県議会議員をはじめ、多くの方々が来場。ケーブルテレビ久喜からの取材の申し出があるなど、2日間で約300名の来場者を集めた。アンケートの集計結果から「どの作品も個性や感性が素晴らしい」、「もっとたくさん見たい。来年も展示会を開催して欲しい」といった意見や評価があったほか、職員や施設利用者の励み、今後の取組への意欲にもつながった。

⑨ 支部：久喜市栗橋手をつなぐ育成会

事業名：「缶バッジ体験&ミニプレゼント交換会」

目的：自分のオリジナルの缶バッジを作りたいという声が障害のある本人達からあがり、缶バッジのアート体験を実施する。アート体験を通して、表現する楽しさを感じ、表現力が育まれる。さらに、楽しみながら身につけるとともに、様々な方の目に留まり、評価されることで自己肯定感を高める。さらに、こうした活動を通して、会員・非会員を問わず、本人・兄弟児・家族・支援者・地域の方々との交流を図る。

成果：自分のオリジナルの缶バッジを作りたい。本人に体験させたいという参加者が集まり、熱心に缶バッジのアート体験ができた。表現する楽しさを実感し、缶バッジを複数作って表現する力が育まれた。各自用意したミニプレゼントをカプセルに入れ、ガチャマシンから出てくることことで、よりワクワク感を高めながら交流することができた。全体を通して、企画・運営・準備・参加者へのレクチャー等を本人たちが行うことができ、活躍の場を設けることができた。さらに、こうした活動を通して、会員・非会員を問わず、本人・兄弟児・家族・支援者・地域の方々との交流を図ることができた。

⑩ 支部：白岡手をつなぐ親の会

事業名：白岡市障連協「市民公開講座」

目的：「障害者の人権が守られ差別のない地域社会」をめざし、障害があってもなくても、地域で共に生きる社会について、市民とともに理解を深める機会として講演会を開催。また、「白岡市の障害児者の福祉を考える連絡協議会」で市民公開講座を開催し、白岡市障連協についての理解を広げる機会とする。

成果：今回は、「能登半島地震・豪雨災害」の災害復興のために、被災地の支援活動に参加した障害者施設職員の報告を基に、災害時における障害者などのいのちを守る「自治体や施設などの災害対策と地域連携」について、市民とともに考える機会となった。

開催にあたり、白岡市などから後援を得るとともに、地域の施設、事業所、ＪＲ駅、スーパーなど多く事業所からポスター展示の協力を得ることができた。当日は白岡市議など６０名の参加を得て実施し、市民と共に理解を深めるという当初の目的は達成することができた。

⑪ クッキープロジェクト広告協賛実施

事業名：クッキーバザール２０２４（３／１５・３／１６ 浦和コルソ１階 コルソ通り）

目的：クッキーバザール広告協賛により広告掲載し、サポート協会の認知を拡大する。

成果：チラシ・ポスターが作成され、イベント会場・各支援先で配布されるとともに、クッキープロジェクトホームページにおいて、昨年度に引き続き協賛を告知し、協会の認知度の継続的アップに貢献した。

３．会議の開催

（１）定時社員総会

第１１回定時社員総会

日時：２０２４年６月１３日（水）１０：００～１１：３０

場所：埼玉会館３階 ３Ｂ会議室

審議事項： 第１号議案 ２０２３年度事業報告承認の件
第２号議案 ２０２３年度決算報告承認の件
第３号議案 ２０２３年度監査報告承認の件

報告事項：（１）２０２４年度 事業計画について
（２）２０２４年度 収支予算について
（３）生活サポート総合補償制度 個人賠償責任補償改定について

（２）理事会

①第１回理事会

日時：２０２４年５月２４日（水） １４：００～１６：００

場所：埼玉県知的障害児者サポート協会事務所

審議事項： 第１号議案 ２０２３年度事業報告について
第２号議案 ２０２３年度収支決算報告について
第３号議案 ２０２３年度決算監査報告について
第４号議案 理事、監事改選に伴う役員の推薦について
その他 「生活サポート総合補償制度」個人賠償責任補償改定について

② 第２回理事会

日時：２０２５年３月１３日（木） １０：００～１１：３０

場所：埼玉会館６階 ６Ｄ会議室

審議事項：第１号議案 ２０２５年度事業計画（案）と予算（案）について
第２号議案 理事、監事改選に伴う役員の推薦について
第３号議案 ２０２５年度サポート協会会議日程について
第４号議案 役員賠償責任保険について
第５号議案 助成金交付規程の改正について

(3) 監査会

日時：2024年5月8日（水）10:30～12:00

場所：埼玉県知的障害児者生活サポート協会 事務所

監査実施事項：2024年度事業報告、収支決算報告について

4. 全国知的障害児者生活サポート協会および関東甲越ブロックとの連携

(1) 全国サポート協会主催 アールブリュット展に応募

埼玉県応募数97点（支部92点、個人応募5点）の作品が提供された。全国サポート協会規程では、各サポート協会5作品までの推薦枠であるが、埼玉県への応募作品数は全国でも非常に多いことから、推薦枠を10作品に拡大して推薦した。

推薦作品の一部は、全国サポート協会制作の2024年カレンダーへ掲載された。

埼玉県サポート協会への全応募者に埼玉県サポート協会より感謝状と粗品を進呈した。

(2) 全国サポート協会 2024年度定時社員総会へ出席

日時：2024年5月31日（金）12:30～14:30

場所：品川区総合区民会館（きゅりあん）

出席：長岡理事長、土屋事務局長

審議事項：第1号議案 2023年度事業報告承認の件

第2号議案 2023年度決算報告及び監査報告承認の件

(3) 全国サポート協会 2024年度理事会へ出席

* 第1回理事会

日時：2024年5月25日（水）13:00～15:00

場所：大田区産業プラザ（PIO）

出席：長岡理事長

審議事項：第1号議案 2023年度事業報告および決算報告（案）

第2号議案 監査報告

第3号議案 2024年度事業計画および予算・再（案）

第4号議案 定款変更（案）

第5号議案 役員およびアドバイザーについて

* 第2回理事会

日時：2025年3月4日（火）13:00～15:00

場所：大田区産業プラザ（PIO）

出席：長岡理事長

審議事項：第1号議案 2024年度事業等の評価・反省

第2号議案 当会法人名変更（案）

第3号議案 2025年度事業計画および予算（案）

第4号議案 理事・監事変更

第5号議案 旅費規程変更（案）

(4) 第18回関東甲越ブロック会議へ参加

主催： 全国サポート協会 幹事サポート協会：やまゆり知的障害児者生活サポート協会

日時：2024年10月11日（金）13：30～16：30

場所：ホテルナビオス横浜

参加：長岡理事長、西山事務局長

参加団体：1都8県サポート協会、全国サポート協会、AIG 損害保険株式会社、
株式会社ジェイアイシー